

⑫ 公開特許公報(A)

平1-99197

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)4月18日

G 07 G 1/14
G 07 F 7/088610-3E
R-6929-3E

審査請求 有 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 磁気カードによる取引点数精算システム

⑯ 特 願 昭62-257928

⑰ 出 願 昭62(1987)10月12日

⑱ 発 明 者 浪 江 武 男 福井県福井市勝見3丁目9-3 村田マンション106
 ⑲ 発 明 者 小 泉 健 一 福井県福井市新田塚2丁目58-29
 ⑳ 出 願 人 三谷コンピュータシステム株式会社 福井県福井市豊島1丁目3番1号
 ㉑ 出 願 人 株式会社ケン 福井県福井市中央1丁目9番31号
 ㉒ 代 理 人 弁理士 戸川 公二

明 細 書

1. 発 明 の 名 称

磁気カードによる取引点数精算システム

2. 特 許 請 求 の 範 囲

加盟店A・B・C・D・E……に各々設置されており、顧客が提出する磁気カード1に取引金額に比例する評価点を書き込みする機能および既に書き込まれた評価点数から当該顧客が受納したサービス点数を減点消去する機能を有すると共に、当該磁気カード1に書き込まれた評価点を読取・集計およびこれらのデータを送受信する機能を備えたPOS端末機2・2……と;

情報センタ5に設置されており、前記POS端末機2・2……から送信されてきた取引評価点数データとサービス点数データの出入を顧客および加盟店毎に整理して、

(a) 各々の顧客については、当該期間中の取引評価点の総計、当該期間中のサービス点の総計、および前記評価点総計からサービス点総計を減じた現在残高点数を算出記録し、

(b) 各々の加盟店A・B・C・D・E……については、これら加盟店各自の当該期間中における取引評価点の総計と、加盟店各自が顧客に与えたサービス点数の総計とを算出して、前記加盟店A・B・C・D・E……毎の負担費用額を算出記録する

機能を、少なくとも具有したホストコンピュータ3を含むことを特徴とした磁気カードによる取引点数精算システム。

3. 発 明 の 詳 細 な 説 明

(産業上の利用分野)

本発明は、磁気カードによる取引点数精算システム、詳しくは、連合体を構成する各加盟店のPOS端末機と情報センタのホストコンピュータとの間に顧客磁気カードが介在する情報伝達ネットワークを形成し、加盟店のPOS端末機によって磁気カード上に記録ないし記録変更される取引評価点およびサービス点数を情報センタのホストコンピュータで処理することにより、顧客毎

磁気カード情報作成・送受信手段を加盟店A・B・C・D・E……の各々に設置し、

前記POS端末機2・2……から送付されてきた取引評価点数データとサービス点数データの出入を顧客および加盟店毎に整理して、

(a) 各々の顧客については、当該期間中の取引評価点の総計、当該期間中のサービス点の総計、および前記評価点総計からサービス点総計を減じた現在残高点数を算出記録し、

(b) 各々の加盟店A・B・C・D・E……については、これら加盟店各自の当該期間中における取引評価点の総計と、加盟店各自が顧客に与えたサービス点数の総計とを算出して、前記加盟店A・B・C・D・E……毎の負担費用額を算出記録する

機能を、少なくとも具有したホストコンピュータ3という磁気カード情報精算処理手段を情報センタSに設置するすることによって上記技術的課題を満足し得る「磁気カードによる取引点数精算システム」を実現したのである。

ホストコンピュータへ加盟店Aの取引評価点数データとして送信する。他方、顧客が磁気カード1を提出してサービス享受を請求したときには、これを記録ヘッド部22に挿入して当該磁気カード中に記録蓄積されている取引点数の総計をディスプレイ（図示せず）上に呼び出して蓄積点数を確認する。例えば、顧客にサービス品（商品）を付与して、その金額をキー操作によって入力すると、そのサービス点数が自動的にシフト入力されて蓄積中の取引評価点数から減点されることになる。なお、図示の実施例において加盟店EのPOS端末機2・2・2は、出店E₁・E₂・E₃に設置され統括コンピュータEhを介して後記情報センタのホストコンピュータにネットワークしてあるが、これは費用分担を加盟店Eについて統括する必要があるのと、加盟店Eの出店管理上の必要からである。

符号3で指示するものは、情報センタSに設置されたホストコンピュータであり、記憶装置31を付帯設備として備える。このホストコンピュータ3は、加盟店A・B・C・D・E……の各々から

（実施例、および実施例システムの作用）

以下、本発明を添付図面に示す実施例に基いて、更に詳しく説明する。

図面上、符号1で指示するものは磁気カードであり、後記POS端末機によって取引評価点数の書込とサービス受納点数の減点消去とを磁気記録可能である。

符号2で指示するものは、加盟店A・B・C・D・E……に設置されたPOS端末機であり、レジ係が操作を担当するレジスタ（register：自動金銭登録機）として構成してあるが、モディム21と磁気カード1を挿入して処理する記録ヘッド部22も付帯されており、

例えば、加盟店Aのレジ係が顧客の提出した磁気カードを前記記録ヘッド部22に挿入して取引品の料金計算操作をすると、支払金額と取引料金明細を印字したレシートが発行される一方、

当該磁気カード1には前記支払金額に相当した取引評価点数を自動的にシフトして磁気記録すると同時に、この取引評価点数を後記情報センタの

送信されてくる顧客別の取引評価点数データおよびサービス点数データをPOS端末機2に挿入された磁気カード1の会員番号に応じて分類集計して各別に現在残高評価点数を算定して記憶装置31に整理記録し、

また、送信源であるPOS端末機2の所属に応じて、加盟店各自の当該期間中における取引評価点の総計と、加盟店各自が顧客に与えたサービス点数の総計とを算出して、前記加盟店A・B・C・D・E……毎の負担費用額を算出して各加盟店毎に整理記録するようプログラムされている。

かくして、情報センタSのホストコンピュータ3に整理記録された顧客毎の現在残高点数データは、顧客の磁気カードによって何れかのPOS端末機2が駆動される毎に当該端末機に送信されてディスプレイ上（図示せず）で同磁気カード1の記録と対照チェックすることができ、

また、加盟店A・B・C・D・E……の負担費用に関する情報については、加盟店に設置されたワー